

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆今年の夏も全国的に暑く 気象庁予報、熱中症対策を

・気象庁は夏(6～8月)の天候の予報を発表。地球温暖化の影響や、偏西風が平年より北を流れやすいことなどから日本は暖かい空気に覆われやすく、全国的に気温が高くなる。熱中症の対策を十分するよう呼びかけている。降水量はほぼ平年並みだが、梅雨前線の活動が活発になる時期がある。

◆温暖化ガス削減目標、締約国9割が未提出 けん引役不在

・気候変動対策の国際的な枠組み「パリ協定」の締約国に5年ごとに義務付けられている排出削減目標(NDC)の提出について、9割の加盟国・地域が2年半ばの期限に間に合わなかった。環境対策に後ろ向きなトランプ米大統領の就任や欧州の政治混乱が影を落とし、けん引役の不在で国際的な機運はしぼんでいる。

◆企業向けサービス価格、1月3.1%上昇 人件費転嫁続く

・日銀が発表した1月の企業向けサービス価格指数(速報値、2020年平均=100)は108.6と前年同月比で3.1%上昇。伸び率は24年12月(3.0%上昇)から0.1ポイント拡大し、2カ月ぶりの水準。幅広い分野で人件費を価格に転嫁する動きが続いている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆2040年度グリーン電力市場、23年度比6.9倍 富士経済調べ

・富士経済はグリーン電力(水力、太陽光、風力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーにより発電された電力)の国内市場を調査した結果を「発電～調達～小売に至るグリーン電力市場の全体像・将来予測調査 2025」にまとめた。製造業などの大企業や地方自治体など大規模需要家向けの特別高圧電力が5割以上を占める。

◆ドコモが都市ガス販売へ dポイント還元、関東・関西で

・NTTドコモは一般家庭向けに都市ガスの取り次ぎ販売を始めると発表。利用料金に応じて共通ポイント「dポイント」を還元。ドコモの通信プランや電力サービス、クレジットカードと併用することで還元率が高まる。生活インフラに関連するサービスをまとめて提供することで、顧客の囲い込みを進める。名称は「ドコモ ガス」。

◆排出量取引、未達時の負担金は1割増し 法案閣議決定

・政府は2026年度から排出量取引制度を本格的に導入することなどを盛り込んだグリーンTRANSフォーメーション推進法の改正案を閣議決定。今国会での成立を目指す。経済産業相が企業に無償で排出枠を割り当て、割り当てられた枠に対して、実際の排出量の過不足が生じた場合未達時、上限から1割増し価格で負担金を支払う。

《 注目商品 》

■ボッシュ、細径グリップ・低振動なコードレスマルチツール

・プロ向け18Vコードレス電動工具シリーズから、ブレード交換で切断・はがし・磨きといった多様な作業ができるマルチツール「GMF 18V-34H」を発売。スナップインシステムを採用し、工具を使用することなくワンタッチでブレードの装着が可能。



■シャープ、PV連携給湯器を拡大 パナソニック製エコキュートも対象

・太陽光発電システムと家電・住設機器を連携する「Life Eeeコネクト」に対応するエコキュートの機種を拡大。独自のAI予測により、昼間の余剰電力で沸き上げを行うことで夜間の沸き上げ量を減らして給湯にかかる電気代を抑制。パナソニック製エコキュート連携対象。



■ABC商会、サイルストーン製洗面カウンター

・天然石の風合いと優れた耐久性の人造石・サイルストーンを使った洗面カウンターシリーズ「クォーツカウンター」に新デザインを追加。天然石の美しさと高い耐汚染性・耐久性、排水金具を隠す排水プレートを備えた洗面カウンター。

